

本内容に関する問合せ先：
一般財団法人 日本環境衛生センター 管理部広報課
TEL: 044-288-5095, Email: koho@jesc.or.jp

第68回 生活と環境全国大会

10月30日（水）、31日（木）の2日間、当センター主催「生活と環境全国大会」を開催しました。今回は神奈川県横浜市での開催となり、延べ約2000名に來場いただきました。



オンデマンド配信
(11月15日～12月20日 17時)
HPより申込受付中！



みどころ

【特別講演】

「持続可能な社会に向けたサーキュラーエコノミーへの期待」

所千晴氏（早稲田大学教授）

「最近の環境行政の動向-ウェルビーイングと新たな成長-」

上田康治氏（環境省大臣官房長）

【公開講座】

廃棄物・資源循環、生活衛生、環境保全の分野において、話題のトピックをテーマに講演やパネルディスカッションを実施

【公開講座テーマ】

【テーマと関連した当センターの業務】

今後のごみ処理施設整備	新ごみ処理施設整備（行田市、羽生市）に係る支援 埼玉県行田市と羽生市では新たなごみ処理施設整備が計画され、建設段階を迎えます。当センターではこれまで、施設整備の計画支援から整備運営事業者の選定まで一連のサポートを行ってきました。10月より設計・施工監理業務を請け負っています。
トコジラミ対策	ねずみ衛生害虫駆除技術研修会【12月11日～13日開催予定】 トコジラミをはじめとする衛生害虫に関して、その生態と防除策を解説します。 
PFAS問題と対策	環境測定分析統一精度管理調査 環境省が国内の環境測定分析の精度向上を目的に毎年度実施。当センターは事務局。平成22・23年度にPFOS・PFOA、令和4年度にPFOS・PFOA・PFHxSを対象項目として調査を実施しました。



自治体向け情報



1 災害廃棄物仮置場 実地訓練

自治体職員を対象に、仮置場設置・災害廃棄物受入のリアル訓練を実施しています。

11/11
神奈川県

地元での訓練実施！

11月11日、「水害を想定した仮置場設置・運営のワークショップ及び実地訓練」を高座クリーンセンター環境プラザ（海老名市）にて開催。実物の粗大ごみ等を用いたリアリティのある訓練を実施しました。神奈川県主催、当センターが企画・運営を務め、県内約20の自治体や関係団体など、合わせて約70名が参加しました。



11/16
青森県

全国初！ 住民参加型ワークショップ

11月16日、全国で初めて地域住民が参加した「災害廃棄物処理に係る課題解決に向けたワークショップ」を弘前市で開催。青森県主催、当センターがこの事業の企画・運営を務めました。サステナブル社会推進部の清水主事が全体進行を務め、グループワークを通じて、災害廃棄物の迅速な処理、地域の早期復興のために、行政と地域住民、関係団体が主体的に連携することが大切であることを共有・発信し、報道等でも取り上げられました。



2 毎月開催！環境と衛生のオンラインセミナー

今回のテーマは「海洋ごみ」！

前回

カーボンニュートラル時代の大気環境：PM_{2.5}とオゾンの未来予測

2050年カーボンニュートラルの実現に向けた技術革新や社会構造の変化に伴い、大気汚染物質の将来濃度に影響が予測されます。そこで、11月13日、PM_{2.5}及びオゾンの大気環境予測に関する最新の研究成果の講演会を開催しました。講師として、日本自動車研究所の森川多津子氏、国立環境研究所の永島達也氏、当センター 吉村有史が登壇しました。

次回

自治体等が実施する海岸漂着物対策について（仮）

海洋ごみ削減のためには陸域のごみ排出抑制が重要ですが、排出量や海域への流入量は正確に把握されていません。今回は、海洋ごみや河川ごみの現状、自治体の排出抑制対策、当センターが実施した河川ごみ調査について紹介します。

12/19 pm
開催！

【講師（予定）】

- ①清野聡子氏 九州大学大学院 准教授
- ②岩崎 光氏 福岡県 環境部 廃棄物対策課
- ③西 隆行 当センター西日本支局 環境事業部 次長





1 地球環境にいがた盛り上げ隊!!

10月9日新潟市内にて、ACAP（アジア大気汚染研究センター）主催、「市民参加型!! 環境フォーラム 地球環境にいがた盛り上げ隊!! ～気候変動・大気環境の「今」を知ることからはじめてみよう～」を開催し、一般市民約100名が参加しました。

地域への普及啓発活動の一環として開催し、自治体より気候変動に関する取組みについて講演いただいた後、有識者によるパネルディスカッション「にいがたで気候変動に立ち向かう」を行いました。

詳細はこちら»



2 チャイナカウンシル

10月9日~13日にかけて、チャイナカウンシル（日中環境ハイレベル円卓会話）が、釣魚台迎賓館（北京市）にて開催されました。

当センター理事長の南川は、環境省より推薦を受け、2017年から本会議の委員を務めています。

日中企業間のビジネスマッチングを支援しています



3 JICAベトナム国戦略的幹部研修プロジェクト

9月18日~21日にかけて、南川理事長がベトナムを訪問。ベトナム国の幹部候補生200名を対象に、「DX, AI を活用しての経済、産業開発の促進—気候変動・地球温暖化GXを題材に—」の題目で講義を行いました。また11月5日には、研修のため訪日した幹部候補生30人を対象に、南川理事長が再び講師を務めました。



4 職員による海外視察

当センター資源循環部では、環境研究総合推進費を活用し、他企業や研究機関の方とともに研究活動を行っています。今回、西畑技師と松本技師が研究活動の一環として、ドイツの蒸気を供給し産業利用を実施している焼却施設等を訪問しました。

【研究名】

プラスチック等脱炭素広域循環経済と食品廃棄物地域循環による環境・経済効果の最大化

📢 センターからのお知らせ

講習会日程/
書籍販売サイト

pick up news

廃棄物関連講習会



団体様からのご相談お待ちしております。

2025年2月9日、「一般廃棄物（ごみ）実務管理者講習」を那覇市内で新規開催します。日本環境保全協会沖縄県支部連合会の会員様が対象です。当センターでは、鳥取県・熊本県・福岡県の一般廃棄物処理業者団体向けに本講習会を開催した実績があります。

生活衛生関連 講習会



災害時・避難所衛生リーダー養成講座

自治体の皆様を対象に、災害関連死を防ぐため、避難所の衛生対策・感染症対策に必要な視点、知識、考え方を身につけることを目指した講座です。

11月29日まで！申込受付中

石綿関連講習会



工作物石綿事前調査者講習 追加開催

工作物の解体や改修工事を行うにあたり、令和8年1月から本講習を修了した有資格者による事前調査が義務化されます。

- ・12月12日-13日 福岡
- ・2025年1月22日-23日 仙台

書籍販売



隔月誌「生活と環境」11月号 発売中！

特集：第五次循環型社会形成推進基本計画で新たな循環経済へ

11/30
開催

スポGOMI×環境省エコ・ファーストin TOKYO 新宿

ごみ拾いを競技化したスポGOMIと、環境大臣より認定を受けたエコ・ファースト企業によるミニシンポジウムを合体させたイベントです。

申込受付中！>>



column

地域のごみ拾い活動

11月3日、当センター西日本支局が位置する福岡県大野城市にて、「御笠川・牛頸川・平野川フェスタ2024」が開催されました。

（公財）日本財団と環境省が共同で推進する「海ごみゼロウィーク2024」への取組みの一環として、当センター職員6名が参加しました。

